

メモリアルデー特別集会アウトライン

2017年5月26日ー29日

主題：命と召会を知る

2017年メモリアルデー特別集会のための標語

神の永遠の定められた御旨は、彼の選ばれ贖われた人を、命と性質において彼であるのと同じにならせ、彼の団体的な表現とすることであり、この定められた御旨は、三一の神が三部分から成る人の命となることによって完成されます。

召会のすべての美、力、明るさ、能力は、命としてのキリストが召会の内側の内容であるという事実から来ます。召会は命の結果であり、命は召会の内容です。

わたしたちは召会の唯一の立場、すなわち、一の真の立場に立たなければなりません。わたしたちはキリストのからだの制限を受けなければならず、わたしたちの度量を越えてはなりません。わたしたちは主の回復における主の行動のために、地方的にも宇宙的にも、一つ思いの中でからだの感覚を持たなければなりません。

キリストのからだの実際と建造のために、わたしたちはキリストの唯一の頭首権の下で彼の復活の命の中を生き、すべての事がかしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります。

三一の神が三部分から成る人の命となって、神の永遠の定められた御旨を完成する

聖書：エペソ 3:11. 創 1:26-27. ローマ 8:11, 28. II テモテ 1:9. I ヨハネ 5:11-12

I. 永遠の定められた御旨、すなわち、もろもろの時代の定められた御旨は、神が過去の永遠に、未来の永遠のために立てた、永遠のご計画です——エペソ 3:11：

A. 神ご自身が、神の永遠の定められた御旨の創始、起源、範囲です——1:9：

1. 人を創造した神の定められた御旨は、人が神を表現し、神を代行することです。神の永遠の定められた御旨は、一人の団体の人を得て、神を表現し、神を代行することです——創 1:26-27。
2. すべては、神の定められた御旨のために働いています。何もそれを覆すことはできません——ローマ 8:28-29。

B. 神の定められた御旨は、召会、すなわち、キリストのからだを得ることであり、それを通して神はご自身を表現することができます——エペソ 1:5, 9, 11, 22-23：

1. 神のみこころ、大いなる喜び、永遠の定められた御旨は、召会を得ることです——3:9-11。
2. 神は、一つの事を行なうことを決意しました。それは、一群れの人を得て、キリストの生けるからだとならせ、三一の神を表現することです——4:4-6。

C. 宇宙における神の定められた御旨は、神と全く同じである一群れの人を生み出すことです。これが聖書の唯一の主題です——ヨハネ 1:12-13. I ヨハネ 3:2：

1. 神の永遠の定められた御旨は、彼の選ばれ贖われた人の中へとご自身を分与して、彼らを神格においてではなく、命と性質において彼であるのと同じにならせ、彼の拡大され拡張された表現とすることです——エペソ 3:2, 8-11。
2. 彼らは、命、性質、かたち、現れ、輝き、栄光、外側の表現において、神と同じになります——啓 4:2-3. 21:10-11, 18。
3. 神の永遠の定められた御旨は、ご自身を彼の神聖な三一において、彼の選ばれ贖われた人の中へと造り込んで、彼らの命、性質、すべてとならせ、彼らが神で浸透されるようにすることです——エペソ 3:17。

D. 神は、彼ご自身の定められた御旨にしたがって、わたしたちを救い、わたしたちを召しました。今や、彼の定められた御旨は、わたしたちの目的となるべきです——ローマ 8:28-29. II テモテ 1:9. 3:10：

1. わたしたちは、神の視点から救いを見る必要があります。神の救いの目的は、彼の創造され贖われた人が、彼の御子において永遠の命を得て、彼の御子のかたちへと同形化され、それによって御子が多くの兄弟たちの間で長子となること——I ヨハネ 5:11-12. ローマ 8:29。
2. 救いは、わたしたちが意義のない人生から救われることを含んでいます——伝 1:2：
 - a. 神の福音は、わたしたちを意義のない人生から救い出して、宇宙の意義の中へともたらします——啓 4:11。
 - b. 神は、とても意義と目的のある人を創造しました。しかし、人は墮落し、人生

の意義は失われました——創 1:26-27。

c. 神は、彼の救いを用いてわたしたちを救い出し、わたしたちの当初の目的、すなわち、宇宙の意義へとわたしたちを連れ戻します——Ⅱテモテ 1:9. ローマ 8:28。

E. 神の永遠の定められた御旨が完成されるのは、彼の選ばれ贖われた三部分から成る人の中へと分与された神聖な命によってです。神の命が人の中へと造り込まれるので、新陳代謝的な反応が人の中で起こり、それは人を造り変えて、命、性質、表現において神と同じにならせます——ヨハネ 3:15. Iヨハネ 5:11-12. IIコリント 3:18. ローマ 8:29。

II. 三一の神が三部分から成る人の命になるという思想は、創世記から啓示録まで全聖書を貫いています——創 1:26-27. 2:8-9, 16-17. 3:1-6, 22-24. 詩 36:8-9. ヨハネ 3:16. エペソ 4:17-18. 啓 21:1-2, 10-11. 22:1-2, 14 :

A. 神がご自身のかたちに人を創造した意図は、人が神を命として受け入れるということでした——創 1:26-27. 2:9. Iヨハネ 5:11-12。

B. 神は、わたしたちの命となることを願っています。それは、わたしたちが彼を表現するためです。これが神の心の願いです——ヨハネ 1:4. 10:10. 11:25. コロサイ 1:15. IIコリント 3:18. エペソ 1:5。

C. 神の定められた御旨を完成するために、神は生ける水の源泉、源となって、彼の選ばれた民を満足させ、彼らに享受を得させることを願います——エレミヤ 2:13 :

1. この享受の目的は、召会を神の増し加わり、神の拡大として生み出して、神の豊満とならせ、神を表現することです——エペソ 1:22-23。

2. 神が、彼の選びの民に対して生ける水の源泉となるのは、彼に一つの目的があるからです。それは、彼ご自身のために配偶者、花嫁を生み出すことです——ヨハネ 3:29. 啓 19:7-8 :

a. 神の意図は、ご自身を生ける水として分与して、彼の増し加わり、彼の拡大を生み出して、彼を表現することです——コロサイ 2:19。

b. 生ける水の源泉としての神以外の何ものも、わたしたちを満足させることはできません。わたしたちの存在の中へと分与された神以外の何ものも、わたしたちを彼の増し加わりとならせて、彼の表現とならせることはできません——ヨハネ 4:13-14. 7:37. 啓 22:17。

D. 神聖な命は、神の第一の基本的な属性であると考えられます——エペソ 4:18. ヨハネ 5:26. Iヨハネ 5:11-12. ローマ 8:2 :

1. 神の命の神聖で永遠の性質によれば、神の命が唯一の命です。神の命だけが命であると考えられます——ヨハネ 1:4. 10:10. 11:25. 14:6。

2. 命とは、神の内容であり、神の流れ出です。神の内容は、神の存在です。神の流れ出は、ご自身を命としてわたしたちに分け与えることです——エペソ 4:18. 啓 22:1。

3. 命とは、三一の神がわたしたちの中へと分与されて、わたしたちの中で生きることです——ローマ 8:11。

E. 神は、わたしたちの命と存在との源泉、唯一の源となることを願っています。わた

したちが彼を命の源泉とするとき、彼はわたしたちに対して、神の家の脂肪分、満足の川、命の光となります——詩 36:8-9。

- F. 三一の神が手順を経て究極的に完成されたのは、ご自身を命としてわたしたちの存在の中へと分与するためです——ヨハネ 1:14. 12:24. 20:22. 7:37-39. ローマ 8:11 :
1. 神のエコノミーとは、ご自身をわたしたちの存在の中へと分与し、それによってわたしたちの存在が彼の存在をもって構成されることです。これは、神がご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと造り込むことによってのみ、完成されることができます—— 2, 6, 10-11 節。
 2. 神は、ご自身を命としてわたしたちの中へと分与することによって、永遠にわたってご自身の団体の表現を持つという彼の定められた御旨を完成します——啓 21:9-10. 22:1。